

(様式3-1-5)

基礎審査確認リスト

(3) 施設整備計画

項目	確認事項	該当様式	参加者確認欄
法令、敷地制限	法令、要求水準等に適合した施設計画となっている。 法定建ぺい率(60%)19,120.20㎡を超えない計画となっている。 法定容積率(200%)63,734.00㎡を超えない計画となっている。 PFI事業敷地面積は任意提案条件上限33,846㎡を超えない計画となっている。 高さ規制(道路斜線、隣地斜線、日影規制)を遵守した内容となっている。		
延床面積・階数・高さ等	本施設の延床面積合計は13,000㎡以上となっている。 本施設の階数・高さは民間収益施設や敷地周辺の建物に対して圧迫感を低減した計画となっている。		
全体配置	周辺環境に配慮し、都市計画との整合を図った計画となっている。 周辺への影響を最小限に止めるよう、利用者動線等に配慮した計画になっている。 利便性、安全性を考慮した施設配置及びアプローチの動線計画となっている。		
車両等動線	主たるアクセスは今回整備する敷地内通路により確保し、搬入等のバックヤードへのアクセスは西側道路から(補助的に北側道路からも可能)となっている。		
意匠計画	周辺環境に配慮した外観、デザイン、色彩等の計画となっている。 民間収益施設との調和性についても配慮している。 形態、外部仕上げ等については、メンテナンス性に配慮している。 内部デザインに県産材を効果的に活用した計画となっている。		
諸室計画	国民スポーツ大会等の大規模な公式大会(日本水泳連盟公認プール施設要領の「国内一般プール・AA」想定)だけでなく、県民の日常的な利用に配慮した諸室がバランスよく配置されている。 必要諸室を全て設ける計画となっている。 要求水準書本文及び「別紙4必要諸室及び仕様」の内容を全て満たす計画となっている。		
屋内プール	50mプール(分割による25mプール兼用)及び25mプールを設ける計画となっている。		
50mプール	レーン数は10レーンとし、プールサイズはW25.02m程度×D50.02m×H2.0mとしている。 レーン幅は2.50mとする計画となっている。 水深0m程度～2.0mに可変する可動床等を設置する計画となっている。 可動床等は水深の無段階調整が可能なものとし、プール全面に設置している。 スタート台とタッチ板(取り外し式)を両側に整備する計画となっている。 競泳、水球の競技を想定した計画となっている。 (公財)日本水泳連盟プール公認規則による公称50m及び25m国内基準競泳プール(8レーン以上)、国内基準公認水球プールの取得が可能な計画となっている。 プール材質は美観性、耐候性、メンテナンスの容易さ、耐震性、競技への適性を踏まえた材質となっている。 大型表示装置を設置する計画となっている。 空調設備の設置や水温(25～30℃)が維持可能な設備の整備、断熱対策及び防音・遮音等の対策等を講じる計画となっている。 十分な器具庫が計画されている。 身体障がい者や高齢者等の入水に配慮した移動式の階段等の設備を随時設置できる計画となっている。		
25mプール	レーン数は8レーンとし、プールサイズはW16.00m以上×D25.00m×H1.35m以上としている。 レーン幅は2.00m以上とする計画となっている。 一般利用を主とし、競泳競技の国内大会時には50mプールの練習施設としても活用できる計画となっている。 プール材質は美観性、耐候性、メンテナンスの容易さ、耐震性、競技への適性を踏まえた材質となっている。 空調設備の設置や水温(25～30℃)が維持可能な設備の整備、断熱対策及び防音・遮音等の対策等を講じる計画となっている。 十分な器具庫が計画されている。 身体障がい者や高齢者等の入水に配慮したスロープ等の設備を設置する計画となっている。 25mプール全体を見渡せるギャラリーを設け、いす、ベンチ等が設けられている。		
観客席	固定席と仮設席の合計で2,500席以上設置する計画となっている。 観客席のうち1,500席以上の固定席は、プール長辺方向と平行に配置する計画になっている。 プールサイドからドライゾーンとウェットゾーンに配慮した上で、直接2階固定席へ上がれる計画となっている。 客席・観覧席総数の0.5%以上を、車いす使用者用客席とする計画となっている。 車いす使用者用客席は2カ所以上の異なる位置に分散して設け、少なくとも同時に2以上の車いす使用者が利用できる専用スペースとし、固定席位置に確保する計画になっている。		
プールサイド	50mプールのプールサイドは、長辺方向はそれぞれ8m以上の寸法を確保し、短辺方向は両サイドの和が16m以上となるような計画となっている。 仕上等、利用者の安全性に配慮した計画となっている。		
建物出入口	大会や一般利用等、様々な利用に対応した動線計画に基づき、選手、大会関係者、観客、一般利用者、従事職員、搬出入の動線区分に応じた出入口を計画している。		
更衣関係諸室	トレーニング室内に屋内クライミングウォールW6m、平均前傾角20°程度を設置し、高さは天井高に合わせて計画している。また、ボルタダリングウォールの欧州規格に準拠する計画となっている。		
その他	床は段差を設けず、滑りにくい素材を使用し、移動しやす計画となっている。 観客席の出入口から車いす使用者用客席へ至る観客席内の通路の有効幅員は120cm以上とし、区間50m以内ごとに140cm角以上の転回スペースが設けられている。 観客席の通路に設ける避難通路やトイレ位置を示す案内表示におけるサインは、高齢者、障がい者等にわかりやすいように配慮された計画となっている。 共用エリアがある階にはそれぞれ1箇所以上多目的トイレを設置している。		
駐車場	普通自動車用250台以上、原動機付自転車及び自動二輪車用(屋根付き)20台以上、自転車用(屋根付き)100台以上確保する計画となっている。 障がい者用駐車場は、宮崎市福祉のまちづくり条例に定められた誘導基準以上の台数を確保し、庇や屋根により雨を避ける構造となっている。 テレビ中継車及び電源車の駐車スペースを各1台確保する計画となっている。		
車路、機器等搬入スペース	本施設へのサービス用車路、機器等搬入スペースを確保する計画となっている。 タクシー、バスへの乗降場所を確保し、大会利用時の臨時バス運行を想定した計画となっている。		
歩行者用通路	駐車場や周辺道路からの歩行者用通路を整備する計画となっている。 可能な限り歩車分離を図り、歩行者の安全確保に十分な対策をとる計画となっている。 大会イベント時の大人数の移動に配慮した広場等のたまりの空間を確保する計画となっている。		
敷地内通路	西側道路、北側道路に接する部分に、歩道又は歩道の機能を有する空地を整備する計画となっている。 市道江平東通りと市道青葉通りを接続し、道路幅員12m以上確保する計画となっている。 道路構造令および宮崎市開発許可基準を満たす計画となっている。 青葉通りとの交差点は緊急車両の出入りに配慮した道路形状とする計画となっている。 宮崎県北警察署から青葉通りへの車両など動線を、建設業務期間中においても確保する計画となっている。 隣地(8,8008.936㎡)に接する計画となっている。		
屋外クライミングウォール	W6m×15m、平均前傾角28°程度、3面以上の異なる傾斜で構成し、リードクライミングウォールの欧州規格に準拠する計画となっている。 クライミングホールドを必要数量設けている。 雨天対策としてW8m×D9m程度の屋根を設置している。 本体下部の路面は衝撃緩和を考慮した材質としている。 本体に門扉等を設置し、侵入防止対策を施す計画となっている。 本体の周囲に運営に支障がないように必要スペースを設けている。		
その他	掲揚ポールを3本以上設置している。 ごみ置場を屋外に設置している。		

注1 入札時の提案書類で要求水準が満たされていることが確認できる事項は、その内容が示されている様式番号(複数可)を記載し、参加者確認欄に「○」を記載してください。
注2 入札時の提案書類に要求水準が満たされているという具体的な記載がない場合は、実現可能であることを確認した上で、参加者確認欄に「実現可能」と記載してください。
注3 本様式に記載されている事項は基本要件を記載したものであり、すべての要求水準を満たしていることを確認するものではありません。本様式の確認をもって、すべての要求水準が達成されていると県が判断するものではないことに留意してください。
注4 添付のMicrosoft Excel様式によりA3判縦(必要枚数)で作成し、A4に折り込んでください。

様式3-3-13	利用料金等収入に関する提案書
----------	----------------

(1) 国スポ・障スポ開催年度以前の期間における年間利用料金収入の設定根拠

施設・設備利用料金	利用可能件数	想定利用率	年間想定 利用件数・人数	年間収入(千 円)	備考
室内50m・25mプール	個人利用				
室内50mプール (全面)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内50mプール (1レーン当たり)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内25mプール (全面)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内25mプール (1レーン当たり)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
トレーニング室	個人利用				
多目的スタジオ	貸切利用				
屋内クライミングウォール	個人利用				
屋外クライミングウォール	貸切利用				
施設利用料金計		—	—	—	
会議室					
役員室					
貴賓室					
音響・放送設備					
プール大型表示装置					
()					
()					
()					
()					
設備利用料金計		—	—	—	
駐車場利用料金		年間想定 利用台数	年間収入 (税抜)(千円)	備考	
()					
()					
駐車場利用料金計		—	—		
自由提案事業による収入		年間想定 利用人数等	年間収入 (税抜)(千円)	備考	
自主事業 (スポーツ教室受講料等)	(A:)				
	(B:)				
	(C:)				
附帯事業	(A:)				
	(B:)				
	(C:)				
自由提案事業による収入計					
収入計					

注1 金額単位: 千円(1千円未満は四捨五入して記載し切り捨ててください。)

注2 項目の内訳は原則上記によりますが、必要に応じて追加又は細分化することは可能です。

注3 消費税率は10%としてください。

注4 関連する様式(様式3-3-14、様式3-3-15、様式3-5-4等)と整合させてください。

注5 本Microsoft Excelの様式で作成してください。

注6 備考欄には積算根拠をできる限り具体的に記載してください。必要に応じて別紙を追加することも可能です。

受付番号

様式3-3-13	利用料金等収入に関する提案書
----------	----------------

(2) 国スポ・障スポ開催年度における年間利用料金収入の設定根拠

施設・設備利用料金	利用可能件数	想定利用率	年間想定 利用件数・人数	年間収入(千 円)	備考
室内50m・25mプール	個人利用				
室内50mプール (全面)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内50mプール (1レーン当たり)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内25mプール (全面)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内25mプール (1レーン当たり)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
トレーニング室	個人利用				
多目的スタジオ	貸切利用				
屋内クライミングウォール	個人利用				
屋外クライミングウォール	貸切利用				
施設利用料金計		—	—	—	
会議室					
役員室					
貴賓室					
音響・放送設備					
プール大型表示装置					
()					
()					
()					
()					
設備利用料金計		—	—	—	
駐車場利用料金		年間想定 利用台数	年間収入 (税抜)(千円)	備考	
()					
()					
駐車場利用料金計		—	—		
自由提案事業による収入		年間想定 利用人数等	年間収入 (税抜)(千円)	備考	
自主事業 (スポーツ教室受講料等)	(A:)				
	(B:)				
	(C:)				
附帯事業	(A:)				
	(B:)				
	(C:)				
自由提案事業による収入計					
収入計					

注1 金額単位: 千円(1千円未満は四捨五入して記載し切り捨ててください。)

注2 項目の内訳は原則上記によりますが、必要に応じて追加又は細分化することは可能です。

注3 消費税率は10%としてください。

注4 関連する様式(様式3-3-14、様式3-3-15、様式3-5-4等)と整合させてください。

注5 本Microsoft Excelの様式で作成してください。

注6 備考欄には積算根拠をできる限り具体的に記載してください。必要に応じて別紙を追加することも可能です。

受付番号

様式3-3-13	利用料金等収入に関する提案書
----------	----------------

(3) 国スポ・障スポ開催年度以降の期間における年間利用料金収入の設定根拠

施設・設備利用料金	利用可能件数	想定利用率	年間想定 利用件数・人数	年間収入(千 円)	備考
室内50m・25mプール	個人利用				
室内50mプール (全面)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内50mプール (1レーン当たり)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内25mプール (全面)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
室内25mプール (1レーン当たり)	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ/入場料徴収無)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収有)				
	貸切利用(アマチュア・スポーツ以外/入場料徴収無)				
トレーニング室	個人利用				
多目的スタジオ	貸切利用				
屋内クライミングウォール	個人利用				
屋外クライミングウォール	貸切利用				
施設利用料金計		—	—	—	
会議室					
役員室					
貴賓室					
音響・放送設備					
プール大型表示装置					
()					
()					
()					
()					
設備利用料金計		—	—	—	
駐車場利用料金		年間想定 利用台数	年間収入 (税抜)(千円)	備考	
()					
()					
駐車場利用料金計		—	—		
自由提案事業による収入		年間想定 利用人数等	年間収入 (税抜)(千円)	備考	
自主事業 (スポーツ教室受講料等)	(A:)				
	(B:)				
	(C:)				
附帯事業	(A:)				
	(B:)				
	(C:)				
自由提案事業による収入計					
収入計					

- 注1 金額単位: 千円(1千円未満は四捨五入して記載し切り捨ててください。)
- 注2 項目の内訳は原則上記によりますが、必要に応じて追加又は細分化することは可能です。
- 注3 消費税率は10%としてください。
- 注4 関連する様式(様式3-3-14、様式3-3-15、様式3-5-4等)と整合させてください。
- 注5 本Microsoft Excelの様式で作成してください。
- 注6 備考欄には積算根拠をできる限り具体的に記載してください。必要に応じて別紙を追加することも可能です。

受付番号	
------	--

様式3-3-13	利用料金等収入に関する提案書(料金表)
----------	---------------------

1. 個人利用

施設名	区分	利用料金	備考
50m・25mプール	9:00～22:00		単位:円、一回あたり
トレーニング室	9:00～13:00 22:00		単位:円、一時間あたり
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
屋内クライミングウォール	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		

2. 貸切利用

施設名	区分	利用料金	備考
50mプール (全面)	9:00～13:00 22:00		単位:円、一時間あたり
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
50mプール (1レーンあたり)	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
25mプール (全面)	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
25mプール (1レーンあたり)	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
多目的スタジオ	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
屋外クライミングウォール	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		

3. その他諸室・設備

施設名	区分	利用料金	備考
会議室	9:00～13:00 22:00		単位:円、一時間あたり
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
役員室	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
貴賓室	9:00～13:00 22:00		
	13:00～17:00		
	17:00～22:00		
音響・放送設備	()		
	()		
	()		
大型表示装置	()		
	()		
	()		
()	()		
	()		
	()		
()	()		
	()		
	()		

4. 駐車場利用料金

種類	区分	利用料金	備考
()	()		単位:円、一時間あたり (一日あたり上限)
	()		
	()		

5. 自由提案事業

種類	区分	利用料金	備考
()	()		単位:円、一時間あたり
	()		
	()		

様式3-4-18	備品リスト
----------	-------

(3) クライミング備品

No	設置場所 室名	品名	メーカー名	型番	数量	単位	単価	金額	リース	備考
1		プロテクション(屋外用18cm)								
2		クリーニング用ブラシ								
3		脚立								
4		ボルタダリングマット								
5		クライミングシューズ								
6		チョークバッグ								
7		チョークボール								
8		充電式電動インパクトドリル								
9										

注1 必要に応じて適宜、項目を編集して記載してください。

注2 単価、金額には、消費税等を含めないでください。

注3 A3判横で、必要な枚数で具体的に記載してください。

注4 リースにより調達する備品については、リース欄に「○」を記載してください。

注5 リース欄に「○」を記載した場合、単価・金額欄は、事業期間終了後の買取も含めた事業期間中の総額を記入してください。

注6 品名には要求水準書で示す備品リストに記載しているものを参考として示している。記載有無にかかわらず、提案する施設や事業に合わせて必要な什器備品を記入すること。

受付番号			
------	--	--	--